

●第60号へ一九七八年一二月

特集・横浜の盛り場

都市に住む人と盛り場——高萩盾男

商業からみた横浜の盛り場——小林知一郎

ハマの盛り場——白神義夫

盛り場と街づくり——脇田園子

商店街とまちづくり——ミニ再開発をめぐる——前田 寿

盛り場であった伊勢佐木町——横浜盛り場小史

——神笠起康

盛り場の文化的コミュニケーション——盛り場文化論

——菅野拓也

盛り場・比較文化考——アメリカ・オーストラリアで暮らして——杉本良夫

わがまち野毛——酒場日記から——多根雄一

行政研究

土地区画整理制度と街づくり——新本牧地区開発の意義と街づくりの考え方——蒲谷 茂 守 英雄

区におけるひとつの試み——「港北区民生活実態調査」に関連して——佐々木寛志 川人政憲 丸木 茂

新書紹介

都市は未開である——マチノロジの周辺領域——多根雄一

●第61号へ一九七九年三月

特集・地域施設の管理・運営

望ましい地域施設の運営を求めて——大森新一

現状の問題をみる——その1「地区センター」

①地区センター——管理運営の現状と課題——斉藤忠義

②公立民営の地区センター——その実態と問題点——松田栄吉

現状の問題をみる——その2「市民の森」

①愛護会組織の現状と課題——九鬼 博 相良逸郎

大沢栄蔵 本荘克行 小島亜夫

②市民の森を管理して「上郷市民の森」の管理体験から——森不二夫

現状の問題をみる——その3「児童公園」

①児童公園の現状と問題点——小島 勝

②児童公園の清掃活動——伊賀山公園愛護会——小山内信之助

③コミュニティの道路と公園——ドナルド・J・ハイバック

都市公園管理の諸問題と安全性——山田栄雄

「グラクタ広場」実験記——宮本次郎

まちづくりの核としてのコミュニティ施設——奥田道大

行政研究

都市施設としての墓園——小沢琢磨 齊藤久司

——立花 誠 辻 泰三 原田陽一 牧野和敏

中国の都市計画・建設——重村達郎

広報活動の現状と広報物登録制度——山口寿明

新書紹介

都市デモクラシー——横山 悠

●第62号へ一九七九年六月

特集・都市と子ども

地域と子どもの生活——深谷昌志

都市と遊び場——大村虔一

子どもの体力と健康——ほんとうに体力はなくなつたのか——片尾周造 村岡俊夫

障害児教育のこれから——倉持義和

横浜市における子どもの塾通いの実態——岡 勤

豊かさの中の貧しさ——非行問題を追って——斉藤茂男

家庭文化のあり方を考える——高橋 敷

幼児の環境をめぐるレポート——自主保育の活動から——中川久美子

遊び空間を考える——遠藤富三 大村璋子

行政資料

横浜開港資料館設立の基本的な方向

——杉原克子 田井中分四郎 中川久美子 西村英彦

新書紹介

街並みの美学——小松崎 隆

●63号へ一九七九年九月

特集・横浜の地下

都市にとつての地下その利用のあり方——川上秀光

地盤と地震災害——中台 寿 森 一紀

地盤沈下の現状と対策——亀山建一

地下街と安全性——木下真男

地下鉄における地下利用と諸対策——五十嵐武利

地下の土木工事桜木町五重立体工事の計画と施工——立神 孝

地下埋設物の施工と管理——白居 守 一沢恒夫

①道路行政と地下埋設物——松野完二

②下水道——中村紀久雄

③上水道——藤瀬紘二

④ガス——高橋健一 谷田部義夫

⑤電力——斉藤博文 千葉松男

⑥電話——牛山昭和 斉藤 勇

⑦共同溝——奈良場篤

地下埋設物台帳の整備と活用——

行政研究

都市を流れる川その考え方——石井ちず子

集団意思決定プロセスへのアプローチ——広域行政における費用負担をケース・スタディとして——渡辺 健

昭和54年(1979年)12月31日

編集・発行——横浜市都市科学研究室

横浜市中区港町1-1

電話——045・671-2011・2029 郵便番号——231

印刷——西岡印刷株式会社

横浜市南区吉野町5-22

●横浜市のデータ

人口——2,766,351人<54.11>

世帯数——827,686<54.11>

面積——426.47km²<54.11>

専業農家数——1,199軒<50.2>

漁業経営体数——253<52>

経営耕地面積——428,349a<50.2>

地方市場数——12ヶ所<54.12>

飲食店数——13,666店<53.6>

飲食料品小売業数——13,565店<53.6>

食料費支出金額——68,318円(1世帯・1ヵ月)<53>